

Voilà! C'est la vie!

カメルーンからこんにちは!

2022年8月 N°7 (sept)

JICA 海外協力隊 2021 年度 3 次隊 小島由紀子

カメルーンの幼稚園と小学校は、6月10日ごろから9月4日まで、約3カ月間の長期休み（「バカンス」とよんでいます）です。これは学校の1年が終わり、次の学年がスタートするまでの間のお休みです。日本でいうと“春休み”の時期と同じですね。日本も夏休みのこの時期、みなさんはおうちでどのように過ごしていましたか？カメルーンの子どもたちの過ごし方を紹介します。

なにしているの？バカンスの子どもたち

畑ではちょうど、トウモロコシや落花生を育てて収穫する時期。バフィアでは、朝のすずしいうちに、家族と畑に行き、畑仕事をする子がほとんどです。収穫したトウモロコシの皮むきも大事な仕事の1つ。



収穫したのもや作った料理をマルシェや家の前で売ってお仕事も子どもたちが手伝います。マルシェでも街でも、この時期だけは子どもが働く姿をたくさん見かけます。

もちろん、家の仕事の合間には、外で元気に遊んでいます！おままごと、すごろくゲーム、サッカー、おにごっこ…。暑い日は、日かげを見つけて遊んでいる子もたくさんいます。



バカンスの先生たち…

日本の学校では、夏休み・冬休み・春休みも先生たちは学校でお仕事をします。

カメルーンでは、先生たちも全員お休みです。でも、休み中はお給料がもらえないので、畑の作業をしたり、服の仕立て屋さんをしたり、都会に行って仕入れたものを自分の街で売ったりするなど、それぞれ違うお仕事をしてお金を得ています。





カメルーンでみーっけ!



この写真をじっくり見て考えてみよう! なにか気付くことはあるかな?



この写真はどこで撮ったものかわかりますか? よく車を見てみてください。日本語が書いてありますね。でも、この写真はわたしの街バフィアで撮ったものです。車の修理屋さんにとまっていました。



ほかにも、街を走る車やバイクを見てみると...



「ヤマハ」のバイクや、「ミツビシ」「スズキ」「トヨタ」など、日本の会社がつけている車がたくさん走っています。

日本の車は、カメルーンだけではなくアフリカの他の国でも人気だそうです。日本の車は性能がいいと言っている人もいました。日本で誰かが乗ったけれど、まだ乗ることができる車(中古車)を輸入して、カメルーンでもたくさんの方が乗っています。

日本のことをあまり知られていないカメルーンでも、生活の中に日本のものが使われているのは、とてもうれしいなと思います。